

# 開腹手術を受けられる患者さんへ (前日入院・腸管処置なし)

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/		/		/	/	/	/	/
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	～退院前日	退院日
目標	手術の準備を整えることができる。		痛みのコントロールができています。 血圧や脈拍などに異常がない。		歩行ができる。 創部やドレーンからの排泄に問題がない。				退院後の注意点を知っている。
処置	おへその処置をします。 弾性ストッキングのサイズを測り、お渡しします。		弾性ストッキングをはきます。 手術用のネームバンドをつけます。 ( : ) に看護師と一緒に手術室に行きます。 		酸素を吸入します。 心電図モニター、フットポンプを装着します。 適宜、体温、脈拍、血圧を測ります。 背中に硬膜外麻酔が入ります。 手術創の近くにドレーン(管)が入る場合があります。		酸素の吸入を中止します。 心電図モニター、フットポンプ、弾性ストッキングをはずします。 医師の指示で尿の管を抜きます。 手術創のフィルムをはがします。 → 背中硬膜外麻酔を抜きます。 → ドレーン(管)が入っている場合、経過を見て医師が抜きます。		退院前の診察をします。 (6階西病棟または外来診察室)
点滴			手術室に入ってから点滴を始めます。 		終了後、点滴の針を抜きます。 ※体調によっては3日目以降も点滴を続ける場合があります。				
お薬	飲んでおられるお薬がありましたら、看護師にお知らせください。 *手術前後のお薬については、医師の指示があります。 21時に下剤2錠を飲みます。		朝、持参薬は指示されたものだけ内服します。 *昼・夕方は中止です。 		持参薬の内服については医師から指示があります。 必要時、痛み止めのお薬が処方されます。		抗凝固薬・抗血栓薬を内服していた方は、 月 日から再開して下さい。		
検査	血液検査(手術の輸血用)		手術後、手術室でレントゲン撮影		朝、血液検査 		※退院まで、必要に応じて血液検査・レントゲン撮影があります。		
食事	夕食まで食事ができます。21時以降は何も食べないでください。 食事と一緒に術前飲料水が出ます。		朝まで術前の飲料水が飲めます。 ・午前手術⇒朝7時まで ・午後手術⇒朝9時まで		食事や水分をとることはできません。 ベッド上でうがいをすることは可能です。		朝から水分がとれます。 昼から食事が開始になります。		特に制限はありません。 
活動安静度	特に制限はありません。		翌朝まではベッド上で安静に過ごします。 起き上がることはできませんが、寝返りは可能です。必要時、体の向きを変えます。		朝から起き上がることができます。 座る練習から始め、その後看護師と一緒に歩く練習をします。その後、問題がなければ活動の制限はありません。		歩行をすすめてください。 特に制限はありません。 		
排泄	特に制限はありません。		排便があったら、看護師が量の確認をしますので、トイレは流さずに看護師を呼んでください。		手術中に尿管を入れて、自然に尿が排出されるようにします。 排便はベッド上になるので、看護師にお知らせください。		歩行ができれば尿管を抜きます。 (※術式によって尿管を抜かない場合があります)尿管を抜いた後は尿がきちんと出ているか確認させていただきます。 必要時、蓄尿袋に尿をためていただくことがあります。		特に制限はありません。 
清潔	除毛(必要な場合のみ)とおへその処置の後にシャワーに入ってください。 マニキュアは除去し、爪が伸びている場合は切ってください。		お化粧品は落としておいてください。		温かいタオルで体を拭きます。		背中硬膜外麻酔が抜けたら、シャワーに入ることができます。 		次回外来受診までシャワー浴のみ行うことができます。
説明指導	入院までの経過や今までかかったことのある病気、飲んでおられるお薬のことなどをお尋ねします。 入院診療計画書をお渡しし、入院生活・治療の流れを説明します。 手術に必要な書類や物品の確認をします。 ・必要書類：手術同意書 輸血同意書(必要時) ・必要物品：ナブキン		手術室へ行く前に、ブラジャーやシャツは脱いでください。 時計、入れ歯、コンタクトレンズ、貴金属類ははずし、貴重品は家族の方に渡してください。		手術直後は頻回に観察させていただきます。  痛いときや吐き気があるときには我慢せずに看護師にお知らせください。				
その他			当日の面会制限はありません。手術中はご家族は4階の手術待合室でお待ちください。 ご家族の方は( : )までに病室にお越しください。						



38度以上の発熱、強い腹痛などありましたら、外来にご連絡、ご相談ください。